

ごみ減量・リサイクル推進委員会からのメッセージ

もっとリサイクル (使用済み小型家電)

—金や銀などの有用金属を回収—  
携帯電話やデジタルカメラなどの使用済み小型家電は、これまで「燃やせないごみ」として埋め立て処分されていました。また、一部は違法な回収業者によって集められ、国内外で不適正処理されていました。使用済み小型家電には鉄・アルミ・金・銀・銅、レアメタルといった有用な金属が含まれています。日本で1年間に使用済みとなる小型家電は65万トンになり、そのうち有用な金属は22万トンで、金額にすると844億円分(環境省資料による)にもなるそうです。

平成25年度から市町村が回収し、認定事業者がリサイクルして有用な金属を回収する体制の整備が行われました。立川市でも回収ボックスを市内3か所で設置し無料で回収をしています。なお、携帯電話は専売店においても回収しています。また、パソコンはメーカーが回収をしています。

〔回収ボックス設置場所〕

- 市役所本庁舎1階ロビー
- こども未来センター1階南側ロビー
- 総合リサイクルセンター1階リサイクルショップ入口

〔対象品目〕

以下の9品目で、ボックスの投入口(300×150mm)から入れることができるもの

携帯電話・PHS 	デジタルカメラ 	CD・MDプレーヤー 
電子辞書 	ビデオカメラ 	ゲーム機 
カーナビ 	携帯音楽プレーヤー 	ACアダプター等コード類 

もっと減量 (エコクッキング)

「ごみを発生させない」などの2Rを意識した行動で、ごみの発生量そのものを減らすライフスタイルの転換をすることが必要であることから、市民の皆さんが身近にできる行動の一環として、「エコクッキング講座」(エコパートナー養成講座)を開催しました。地元で採れた野菜などを使い、ごみをな

べく出さない料理法を学び、完成した料理(多摩なべ)については、みんなで残さずおいしく食べました。



ごみ減量・リサイクル推進委員会……市民、事業者と行政が一体となって、ごみ減量とリサイクルの推進を図るために活動しています。次号以降もごみ減量に向けたメッセージをお届けします。

未来へつなごう ごみをつくらないライフスタイル

立川市  
総合リサイクルセンターだより

西砂からの風

2016年3月(第28号)

発行/立川市ごみ対策課

MOTTAINAI を意識しよう  
もったいない!

食品ロス

家庭から出る燃やせるごみのうち、約40%が生ごみです。生ごみの中に「まだ食べられるのに捨てられている食べ物」がたくさんあり、これを「食品ロス」といいます。日本では年間642万トンもの「食品ロス」が発生しており、そのうち家庭から出る量が312万トンとされています。

清掃工場に搬入された食品



食べられるのに。。。もったいない!

● 手をつけていない食品

「安売りや大袋で買ったのに使い切れなかった」「家にある在庫を忘れて、同じものを買ってしまい、使い切れなかった」なんて経験ありませんか?ちょっとした心がけで少なくなります。

- ◆買い物に行くときは、メモを持っていく
- ◆必要以上に買わない
- ◆賞味期限や消費期限を正しく理解する

● 過剰除去

どうしても出てしまう調理中に出る「調理くず」野菜くずの再利用や無駄のない調理方法に挑戦してみましょう!

- ◆野菜の皮などの使える部分はできる限り調理する
- ◆皮ごと食べられる果物はむかずに食べる

● 食べ残し

食品ロスで一番多いのが、「食べ残し」

少しの心構えで、「食べ残し」を減らすことができます。

- ◆料理は食べ切れる分だけ作る
- ◆外食時には、食べ残しをしない
- ◆「もったいない」という気持ちを大切にする

**食品ロスを減らすためには、1人1人のちょっとした心がけが大切です!**